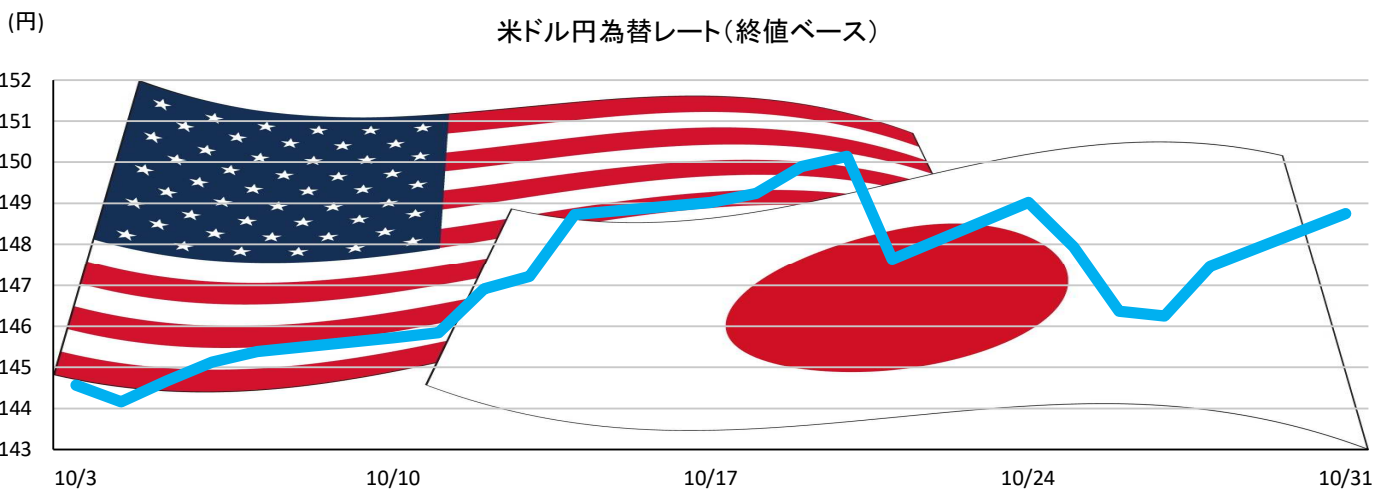


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**10月のドル円相場は143円半ば～151円後半で推移。月初は堅調な米雇用統計や市場予想を上回った米消費者物価指数などを受け、次回FOMC大幅利上げの期待感からドル買いが強まった。一時、覆面介入が疑われる場面もあったが、良好な米経済指標発表に加え、バイデン大統領やイエレン財務長官からドル高容認発言でドル円は152円台が目前に迫った。ところが21日夜に為替介入とみられる動きで146円台前半まで急激な円高。週明け24日早朝に149円台後半まで戻りを見せたが、再び為替介入が実施されるとみられ145円台半ばとなる荒い値動き。その後も冴えない米経済指標発表を受けてドル売りが進む場面もあったが、日銀金融政策決定会合後の黒田総裁が安定的な円安は経済全体にプラスと発言したことを受け再び円安ドル高の流れとなった。



## EXTRA VISION

**今後の展開：**32年ぶりに150円台に突入したドル円相場。日米金利差を背景とした円売りドル買いの流れは継続しているが、他通貨における対ドルの動きや当局による為替介入にも注意を払いたい。米国の景気減速懸念が台頭していることで、FRBの利上げペースが鈍化する可能性も指摘されていることから、一時的に荒い値動きも予想されるため、ポジションの構築には細心の注意を払いたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
11 / 16 (水)	22 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
11 / 24 (木)	0 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
11 / 30 (水)	22 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
12 / 2 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
12 / 13 (火)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
12 / 14 (水)	8 : 50	JP	日銀短観	☆☆☆☆
12 / 15 (木)	4 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。